

米子をエンジョイしている人々

よなごびと 第17回

ネーギーズ リーダー

まつしの
松篠 まゆみ さん



” いちやりばちよーでーゆいまーる
みんなステキな家族です!
“

巖公民館を拠点に三線さんしんや創作エイサーの技を磨くチーム、それが「ネーギーズ」。地元の40代女性を中心に、いつも明るく威勢のいい声と南国の心地良い音色を響かせています。

チーム結成のきっかけは、元々沖縄好きだった松篠さんが、沖縄旅行の際に三線を購入したことだそう。「近所の人たちが『私もやりたい』と声をかけてくれて。公民館に相談したら快く場所を貸してくれたんです。」

特筆すべきは、その活気。「全員素人なので、気づいたことは互いに教え合いの上達させます。」という言葉どおり、練習中は「もっと肘をあげよう!」「指先をそろえて!」とメンバー同士の声に熱がこもります。沖縄のようなエネルギーがチームの活気を生んでいるのかもしれない。

活気の秘訣はもう一つ、公民館が活動の場であることだと松篠さんは言います。「公民館で活動したから地域の人を知ってくれて、繋がりが広がりました。多くのメンバーが加入してくれました、公民館や地域の人がいつも親身に助けてくれます。」

チームの合言葉は、「いちやりばちよーでーゆいまーる(一度出会えば皆兄弟、助け合いの心で)」。沖縄の方言だそうです。「まさにこのチームのことです」と誇らし気に言うリーダーのはじける笑顔こそが、チームの一番の活気の源に違いありません。



楽器の音にも負けない声が響き渡ります



全員笑顔! 巖公民館にて

米子市の人口と世帯数 令和2年1月末日現在(住民基本台帳による) ※()内は前月比
人口 147,787人(-50人) 男性 70,377人(-44人) 女性 77,410人(-6人) 世帯数 67,110世帯(+21世帯)